

文月



～真心より奉仕に努めます～

# しろくまだより

《第9号》

＊発行 社会福祉法人 白熊会  
特別養護老人ホーム

白熊園

TEL 092-831-8562

〒814-0104

福岡市城南区別府7-5-45

＊発行責任者

施設長 佐藤栄一

<http://hakuyuu.or.jp/>

## 《別府幼稚園との七夕交流会》

あいにくの雨天の中、今年も元気な子供たちが会いに来てくださり、一緒に笹飾りをつけ、歌を歌って楽しいひとときを過ごしました。かわいい園児たちとの触れ合いで、皆さん笑顔いっぱい！



木の葉モールで  
お買い物



あいにくの雨天のため、2階のご入居様は山笠の飾り山見物は車窓から…。代わりに木の葉モールショッピングセンターに行ってきました！皆さん「初めて来た！また来たい！」と大変喜ばれていました。

梅雨の晴れ間に恵まれ、ヤフードーム前の飾り山見物ができました。飾り山を目の当りにして、その迫力に圧倒！



平成24年度

## 第1回家族懇談会のご報告

- ・当園嘱託医である二ノ坂保喜先生による講演があり、ご家族様40名以上が参加され大盛況でした。
- ・看取りケアの実例(2例)発表や、TV放送で当園での看取りケアが紹介されたVTR映像、及び実際に故郷で看取りをされたご遺族様からのお話もありました。



たいさんぼく

泰山木の花言葉は「前途洋々」「壮麗」「威厳」「高貴」「崇高」「自然の愛情」。  
花はいい香りがするそうです♪  
白くて大きい花を咲かせる泰山木はまさに白熊園のシンボルツリーですね！

泰山木開花!!



### 5月～7月の主な行事

- 5月20日(日) 平成24年度第1回家族懇談会(内容:嘱託医 ニノ坂保喜先生による講演)
- 6月26日(火) 防災訓練(夜間想定)
- 7月 3日(火) 別府幼稚園との交流会(七夕会)
- 7月 4日(水) 2F一部ご入居者様 山笠見学(場所:福岡yahoo!JAPANドーム)  
※雨天の為、車窓からの見物。その後、木の葉モールへ。
- 7月 5日(木) 3F一部ご入居者様 山笠見学(場所:福岡yahoo!JAPANドーム)

### 今後の主な行事予定

- 7月21日(土) アロハハワイアン演奏会(出演:ア68ハワイアンズ)
- 8月 4日(土) 一部ご入居者様 別府校区夏祭りへ参加(場所:別府小学校)
- 9月15日(土) 敬老の日祝典(内容:賀寿の表彰など)  
お祝い会(内容:演芸など)

当園にご入居されていた方のご家族様よりお手紙を頂きましたので紹介させていただきます。  
「人生の最期を故郷で迎えさせてあげたい」というご家族様の強い想いにより、  
故郷・南関(熊本県)での看取りが実現致しました。  
職員一同、ご入居者様の人生の一部に携われたこと、心より嬉しく思うと共に  
ご冥福をお祈り致します。ありがとうございました。

## 母を故郷で看取りました

田島在住 大賀サワ子

別府春秋園(当時)現在の白熊園の開設当初から私の母は、お世話になってきました。  
福岡に住む私の実家は、熊本県南関町。母は、弟家族と同居していましたが、82歳頃から要介護4となり、  
弟夫婦は共稼ぎで、私は定年少し前に退職していましたが福岡に《呼び寄せて介護》をすることにしました。  
入所前から食事の嚥下力が落ちていましたので、私は日に2〜3回食事介助に3ヶ月ほど通いました。しかし、  
50kgあった体重は37kgまで減り、入院させることにしました。母は、話しかけても反応がなく、眠ったような状態になり、  
もう死ぬのかと思って私は涙しながら、手帳に思いを書いていた。

入院して1ヶ月余りは、鼻腔栄養でしたが、ドクターから「胃瘻にしませんか。食べられるようになれば使わなくてもいいし」と、私はいとも簡単に承諾しました。その後、白熊園に戻ることができ、胃瘻から栄養、水分、薬を  
きちんと入れて頂くので体重も顔の色艶もメキメキ回復しまして話もできるようになりましたが、  
お腹は膨満し、キツそうな呼吸音をいつも「あーあー」と発していました。胃瘻造設から1年余りたったころ、呼吸が苦しくなり、  
また入院することになりました。病院では、点滴、酸素吸入、尿をとる管、それから「胃瘻を抜くといけなから」と両手は  
ベッドに縛られ、可哀そうなものでした。「もう入院はさせまい」と白熊園の方にも伝えました。胃瘻造設から5年1ヶ月。  
母は、こんな生活を決して望んではいなかっただろう。と後悔しました。

満90歳を迎えた翌月、39度台の高熱が出たあたりから、めっきり弱ってきました。呼びかけに答えることもなくなりました。  
「よし、家に連れて帰ろう」と決め、二ノ坂先生や園の方に、そして実家の弟にも相談しました。在宅管理をしてくださる  
診療所にも相談し、自宅で看取る体制を作っていました。

4月26日、いよいよ白熊園を退所して自分の家に帰ることになりました。母にしてみれば知らない土地で、知らない人の中で  
暮らすよりも、もちろん、白熊園では手厚い介護、暖かい言葉かけをたくさんして頂きました。でも妹らが行くと「帰ろう、連れて  
帰ってくれ」とよく言っていたので、亡くなって霊柩車で連れて帰るよりも、たとえ1日でも家に連れて帰ってあげたい。というのが  
私の願いでもありました。出発の際は、白熊園のたくさんの方々からお見送りをしていただき、母は幸せでした。  
移送車は救急車と同じ構造になっていて、看護師さんも付いてきてくださるので点滴しながら安心して帰ることができました。  
(ちなみに南関町まで78000円也)

自宅の玄関を入る時「パッと両目を開けられましたよ」と、看護師さんが言っていました。布団に寝かせると間もなく  
診療所から先生と看護師さんが来て下さいました。点滴は白熊園から持たせていただいた、あと1本を入れるのみとし。  
(胃瘻からの栄養は高熱が出た18日から体の負担になるので、すでに点滴だけになっていました)  
先生たちが帰られると、早速近所の馴染みの人が来て下さり、翌日は母の妹や弟たちが、翌日も次々に。  
夜になると私は、布団を母の布団に引っ付けて敷き、寝息と身体の温もりを感じながら2晩過ごしました。昼間は元気な  
ひ孫の声が聞こえ、娘や孫たちがかわるがわる声をかけてくれ、診療所からも毎日訪問看護に来て下さり、とてもいい時間を  
過ごすことができました。3日目に入るころは、一呼吸、一呼吸すること自体が苦しうでした。

そして、やっと安らかに眠れる時を迎えたのです。

自分の部屋で2晩過ごして。私は「よくがんばったね。楽になったね。天寿を全うすることができたよ、えらかったよ。」と  
心から讃えてあげました

白熊園には、6年6ヶ月。本当にお世話になりました。  
二ノ坂先生や、職員の皆さんからの声掛けが、どんなに嬉しかったことと思います。  
本当にありがとうございました。感謝しています。

## 医務から回診に関するお知らせ

8月13日はお盆の為、二ノ坂Drの定期回診は休診となります。  
また、8月26日から9月4日までの期間、二ノ坂Drは看護学校等設立等、  
国際医療協力でバングラディッシュへ訪問される為、不在となります。  
(定期回診は8月30日のみ休診。)  
緊急時の医療連絡体制は確保しております。  
ご心配をおかけして申し訳ございませんが、皆様のご理解とご協力を  
よろしくお願い申し上げます。

## 食品持込みにに関するお願い

気温が高くなっています。ご入居者様への差し入れ等は出来る限り、  
職員にお知らせ頂き、冷蔵庫保管をお願いします。  
居室に冷蔵庫が無い方はユニットに共同の冷蔵庫がありますので  
お気軽にお声掛けください。

尚、季節柄、生もの等の持ち込みはお控えください。

お預かりした食品で賞味期限経過した物は職員の判断にて処分させていただきます。  
職員管理外の食品、及び居室内の食品衛生管理の責任は負いかねますので  
皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。



## 新入職員紹介



6月から入職した松元珠美と申します。  
一生懸命頑張りますのでどうぞよろしく  
お願い致します。

【しょうぶユニット配属・松元珠美】



楮木由香です。  
7月より働き始めました。  
1日も早く皆様のお役にたてるよう、  
安心して過ごされますように、  
頑張っていきたいと思います。

【こすもすユニット配属・楮木由香】

よろしくお願い致します♡